

# SOSネットワークをご存知ですか？

**SOS ネットワークとは、自分がどこにいるかわからなくなり、行方不明となった認知症の方などを発見・保護する為のネットワークです。**

## < SOSネットワークをご利用ください >

警察署・保健所・交通機関などさまざまな機関・団体が参加、協力しています。

行方不明が生じた場合には、その方の情報をさまざまな機関・団体が共有し捜索の支援をするものです。行方不明になった認知症の方は時間の経過と共に行動範囲も広がり、予想もつかない場所で発見されることもあります。協力者のたくさんの『目』が行方不明になった方の早期発見・早期保護に繋がります。

## < 行方不明になった方とそのご家族を支援していくためのシステムです >

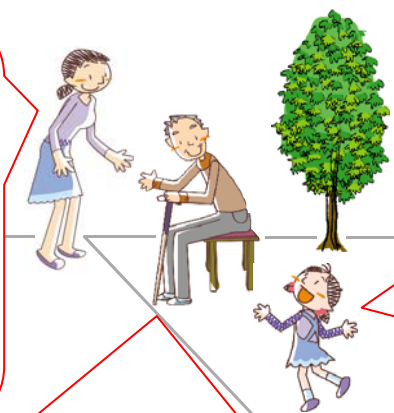
**もし、このような方を見かけたら**（行方不明になった認知症の方の特徴）

- ☆ 会話のつじつまが合わない（何かたずねても違う答えがかえってくるなど）
- ☆ ちぐはぐな服装や履物（季節はずれの服装、パジャマやスリッパのまま外を歩いているなど）
- ☆ 衣服の衿や持ち物に名札や電話番号等の連絡先が書いてある

### <何か様子が

#### おかしいと思ったら>

遠慮なく警察やSOSネットワーク事務局などに連絡、相談してください。長時間歩き続けていることもあります、飲み物をすすめてみてください。ご家族や、警察の方などが来るまで、付き添ってあげてください。



### <話しかけるポイント>

認知症の方は、急に近づいたり、大声で話しかけたりすると驚いたり、混乱したりしてしまいます。

- 1、まずは優しく「こんにちは」など挨拶してみてください。
- 2、「お出かけですか」「何かお手伝いしましょうか」「少し休みませんか」など話かけてみてください。

認知症の方は上手に自分の状況を理解し説明できません。だから助けが必要です。もしかしたら交通事故に巻き込まれる可能性も… **誰かが気軽に優しく話しかけてくれる事を待っている** かもしれません。

- ・協力してくれる団体や機関、利用対象者、仕組みなどはその地域のSOSネットワークによって異なります。
- ・主な協力団体として、警察、消防、保健所、市町村、社協、ハイヤー協会、トラック協会、放送局、福祉施設、病院、家族の会、JR、グループホーム協議会などがあります。
- ・**要請や登録の方法などの詳細は、当該警察署、SOSネットワーク事務局（保健所等）にてご確認ください。**

◎ 連絡する際には特徴（身長、体格、顔色、面形、眼鏡、頭髪、血液型、着衣、所持金、過去の徘徊歴など）や状態（不明になった場所、時間、状況）を説明できるように把握しておくといいです。